

## (5) 農 林 水 産 業 費

事業名	農山村滞在及び定住促進事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	06	農林水産業費
事業開始年度	平成 19 年度	事業進捗率	%		項	01	農業費
担当部署	総務 部	政策企画	課		目	02	農業総務費
財源内訳	事業費		1,369,741 円	事業の目的・目標	過疎・高齢化の進行する市内の農山漁村集落を重点に、都市部のUIターン希望者の移住を促進する。 目標は、10年間で200人の移住者確保 ◆実績：平成18年度～平成25年度 254人		
	国庫支出金		円				
	県支出金		1,369,741 円				
	地方債		円				
	その他		円				
一般財源		円					

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

農山漁村に増え続ける空き家と、農林水産業を中心とした企業・法人等の求人情報をセットで提供することによって、都市部の人材を本市へ移住させることができる仕組みを構築する。

#### ○事業の実績

##### ●移住実績

- ・空き家登録の件数：39件
- ・空き家活用等による移住者：7件・19人

##### ●その他の主な実績

- ・県主催のUIターンフェア、農業人フェアに積極的に参加した。
- ・空き家登録を促進するため、固定資産税通知に合わせて市外在住の空き家等所有者に対するチラシの配布を実施した。
- ・若手・中堅職員の人材育成、定住対策を促進するための企画立案を目的に「定住対策プロジェクトチーム」による活動を実施。結婚支援イベントの企画運営を行った。

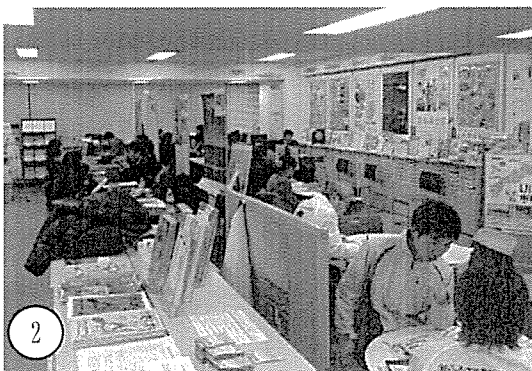
#### ○事業の効果

- 定住相談の9割は、江津市空き家情報提供システムを介しての相談であり、移住の動機づけとなっている。
- 市役所内に開設されたハローワーク浜田の出先事務所・ワークステーション江津との連携体制を構築しており、定住希望者の就職支援を行っている。
- プロジェクトチームが企画運営を行ったイベントを通じて、市の新たな定住施策が構築されたと同時に、メンバーの定住に対する意識が醸成された。

賃貸・売却が可能な  
**空き家**  
活用してみませんか？

江津市では定住対策の一環として、UIターンを希望される方へ、市内の空き家（賃貸・売却可能な物件）を紹介する事業に取り組んでいます。

1



2

空き家登録に費用はかかりません。

江津市内に空き家を所有しているが、管理にどうするか分からない、できれば誰かに買ってもらいたい、売却したい、親戚の家が空き家になっていて管理を任せられているが、管理が大変だ、誰かに買いたい。

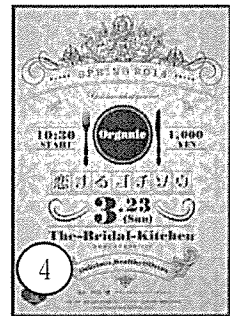
買ってもよい空き家があるが、詳細を知らないため依頼にならない、どうしたらよいのか。

空き家大に買してもいいが、権利や設備が調べてあるので、どうしたらよいかわからない。

売れたい家と賃貸したい家の両方がある場合は、両方の登録が受け付けています。



3



4

- ①固定資産税通知に同封した空き家登録チラシ
- ②2/10 しまねUIターン相談会の様子  
(ふるさと回帰支援センター@東京)
- ③12/21 定住対策プロジェクトチーム異業種交流会「江縁津輪（ごえんつあー）」の様子  
(風のえんがわ@後地町)
- ④3/23 自分磨きイベント「恋するゴチソウ」  
チラシ  
(ザ・ブライダルキッチン@渡津町)

事業名	みんなでつくる有機の郷事業			予算科目	会計	01	一般会計
事業開始年度	平成 23 年度	事業進捗率	%		款	06	農林水産業費
担当部署	産業振興 部	農林水産 課			項	01	農業費
事業費		5,580,000 円			目	03	農業振興費
財源内訳	国庫支出金		円	事業の目的・目標	①県内産有機農産物等の販路開拓及び販売拡大 ②県内における有機農業の新規就農者の受入れ・育成及び経営基盤の整備 ③県内における有機農業の面的拡大		
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		5,580,000 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

有機農業実践支援事業…有機農業の本格展開や規模拡大に対する支援（県補助：1/3 市補助：1/6）

○事業の実績

（単位：円）

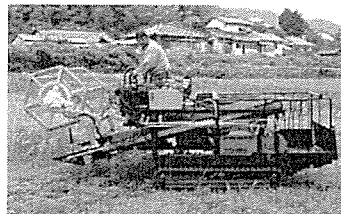
実施主体	事業内容	導入機械	事業費	負担区分		
				県（※）	市	自己負担
有限会社 桜江町桑茶生産組合	実需者からの需要や、更なる取引の拡大へ対応可能な施設・機械の整備	大麦刈取機、異物除去洗浄機、高速裁断機、桑の葉用苗、杭、防草シート、バックホーリース	18,920,420	6,092,000	3,153,000	9,675,420
有限会社 スプラウト島根	大手通販会社との取引開始により急増した需要に応えるための施設・機械の整備	製茶機械装置、高速切断機、カッター、電動トロリー、ホイストスケール	10,209,600	3,403,000	1,701,000	5,105,600
新規就農者1名	安定した経営基盤づくりのための農業機械・施設の整備	田植機、トラクター、コンバイン、代掻きハロー、高圧洗浄機	4,356,450	1,452,000	726,000	2,178,450

※県より事業主体に直接交付

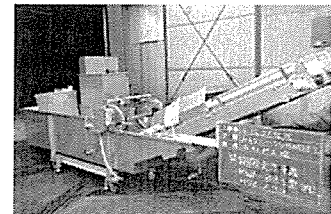
○事業の効果

有限会社桜江町桑茶生産組合

生産・加工工程において生産性の高い機械を導入したことにより、1日の生産量が1t→3.5tへ増加し、需要に応じた生産量を確保できる環境整備を図った。



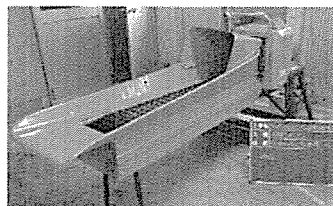
【大麦刈取機】



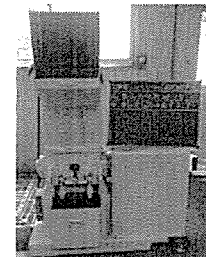
【異物除去洗浄機】

有限会社スプラウト島根

搬入・加工工程において生産性の高い機械を導入したことにより、1日の生産量が3t→4.5tへ増加し、急増した需要に対応可能な生産量を確保できる環境整備を図った。



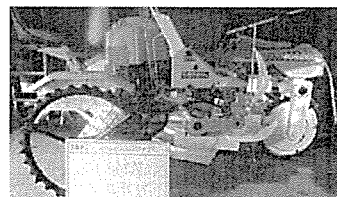
【カッター】



【高速切断機】

新規就農者1名

独立就農に必要な機械等の整備を図った。



【田植機】



【トラクター】

事業名	有害鳥獣被害対策事業				予算科目	会計	01	一般会計
						款	06	農林水産業費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率	%		項	01	農業費
担当部署	産業振興	部	農林水産	課		目	03	農業振興費
事業費			14,308,359円		事業の目的・目標	鳥獣による被害の予防や有害鳥獣の捕獲を行うことにより、農業生産の持続と農地の遊休化防止、集落の生活環境の保全に努める。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金			1,404,800円				
	地方債			円				
	その他			円				
	一般財源			12,903,559円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 捕獲事業  
有害鳥獣捕獲班を編成し、イノシシ、サルなど農作物等に被害を及ぼす有害鳥獣を捕獲する。
- 防護柵等設置事業  
有害鳥獣による被害防止を図るため電気柵や金網フェンス等の資材費助成を行う。
- 鳥獣被害防止総合対策交付金事業  
農林水産省補助事業「鳥獣被害防止総合対策交付金事業」に取り組む江津市鳥獣被害対策協議会に対し、補助金等を支出し、将来に安心して農業に取り組める鳥獣被害防止施設の整備並びに地域ぐるみの鳥獣被害対策の確立を図る。  
⇒総事業費：21,500,060円  
国：11,687,000円  
市：7,777,100円  
受益者負担金等：2,035,960円

○事業の実績

(単位：円)

事業名	区分	内容	事業費
捕獲事業	有害鳥獣捕獲	イノシシ388頭、サル38頭、カラス211羽、ヌートリア15匹	4,805,700
	捕獲活動条件整備	ハンター保険、狩猟登録料助成他	1,182,559
防護柵等設置事業	防護柵等設置	受益戸数12件	543,000
鳥獣被害防止総合対策事業	推進体制整備	江津市鳥獣被害対策協議会開催1回、事務費	7,777,100
	個体数調整	捕獲器調達(イノシシ用5基) イノシシ利活用促進	
	被害防除	先進地視察研修	
	広域的防護柵整備	総延長26,761m(13地区)	
計			14,308,359

有害鳥獣捕獲実績 (H21-25)

	H21	H22	H23	H24	H25
イノシシ(頭)	248	426	227	373	388
サル(頭)	35	98	20	48	38
カラス(羽)	351	299	213	175	211
ヌートリア(匹)	134	32	44	53	15

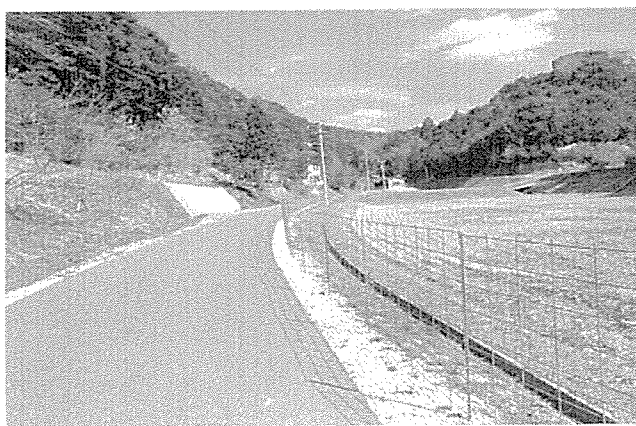
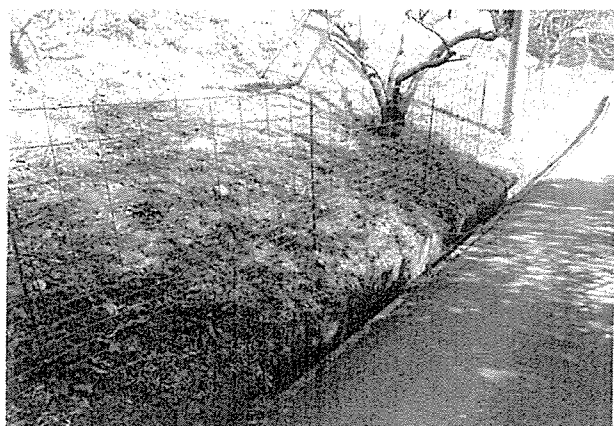
○事業の効果

- 捕獲事業の実施により、有害鳥獣の個体数増加に歯止めをかけており、被害の軽減に寄与した。
- 緊急捕獲事業の実施により、有害鳥獣の個体数増加に歯止めをかけており、被害の軽減に寄与した。
- 狩猟登録の助成等により市の捕獲班の確保に努めた。
- 鳥獣防護柵設置により、鳥獣被害の軽減が図れた。

【イノシシ肉利活用促進（ふるさとフェア）】



【集落住民参加型の直営施工による防護柵整備】



事業名	地産地消支援事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	06	農林水産業費
事業開始年度	平成 25 年度	事業進捗率 33 %		項	01	農業費
担当部署	産業振興 部	農林水産 課		目	03	農業振興費
事業費					3,500,000 円	事業の目的・目標 営農コーディネーター2名を配置することにより、営農技術指導や消費者ニーズと生産・出荷のマッチング等を強化し、直売所の年間を通じた安定供給を図る。また、学校給食での食材供給における生産者と品目の拡大を図り産直率向上に努める。
財源内訳	国庫支出金				円	
	県支出金				円	
	地方債				円	
	その他				3,500,000 円	
	一般財源				円	

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

農林水産物直売所の安定供給及び学校給食における地産地消の推進を図るため、営農コーディネーターを2名配置する。

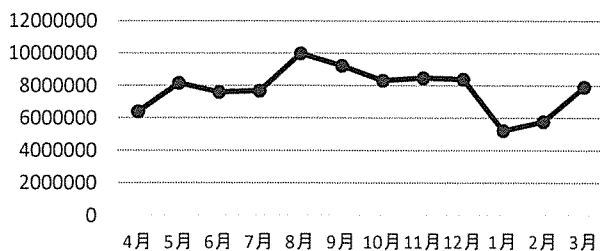
- 配置人数 : 2人 (江津地区1人、桜江地区1人)
- 配置場所 : いわみ中央農業協同組合、島根おおち農業協同組合
- 経費の負担区分 : 江津市(各1/2) 1,750,000円+1,750,000円=3,500,000円  
 いわみ中央農業協同組合(1/2) 1,750,000円  
 島根おおち農業協同組合(1/2) 1,750,000円

- 営農コーディネーターの業務内容
  - ① 営農相談・技術指導・研修会の実施
  - ② 収益のあがる農業経営への誘導
  - ③ 直売所での消費者ニーズと生産・出荷のマッチング
  - ④ 学校給食での供給と生産のマッチング
  - ⑤ 直売所・学校給食の生産物の集荷
  - ⑥ その他支援措置

○事業の実績及び効果

●直売所の実績  
(円)

(平成25年度)  
直売所産直分販売額

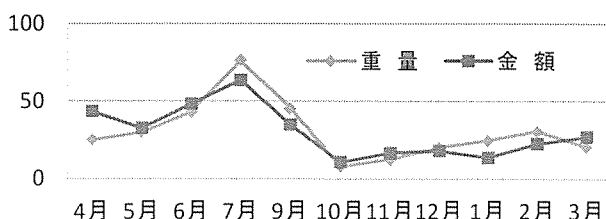


(年度別産直品販売額比較表)

年度	産直分販売額	産直率
H23	73,995,476円	61.1%
H24	83,732,669円	64.4%
H25	93,264,851円	65.3%

●学校給食の実績  
(%)

(平成25年度)



(年度別産直率比較表)

【重量ベース】

H23	H24	H25
28.3%	33.0%	29.7%

【金額ベース】

H23	H24	H25
25.0%	30.7%	28.4%

※H25の対前年度比較減少は豪雨災害の影響

事業名	中山間地域等直接支払事業		予算科目	会計	01	一般会計		
				款	06	農林水産業費		
事業開始年度	平成 22 年度	事業進捗率		80	%	項	01	農業費
担当部署	産業振興 部	農林水産 課		目	03	農業振興費		
事業費 (A)			13,094,460 円		事業の目的・目標	中山間地域の農地を適切に管理し、耕作放棄地の発生防止や多面的機能（洪水防止や水源の涵養、美しい景観）の確保を図るために、平地との生産コスト差に相当する交付金を交付し、中山間地域の農業生産活動の継続を図るための支援を行う。協定数・協定面積の増加を目標に、高齢化や担い手不足等により活動困難が予想される集落協定については近隣との合併を進める。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金	3/4	9,593,554 円					
	地方債		円					
	その他		円					
一般財源			3,500,906 円					

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

- 急傾斜地 「田」 傾斜1/20 21千円/10a 「畑」 傾斜15度 11.5千円/10a
- 緩傾斜地 「田」 傾斜1/100 8千円/10a 「畑」 傾斜 8度 3.5千円/10a  
(※基礎活動への取組の場合は、上記単価の8割)

#### ○事業の実績

- 協定数 26協定 (集落協定 25 ・ 個別協定 1)
- 協定農用地 127ha (田 101ha ・ 畑 26ha)
- 事業費内訳 13,094,460円 (交付金12,134,097円+推進費(事務費)960,363円)  
(※交付金は、国費と県費は市を通して交付。)

#### ○事業の効果

第3期対策(H22年度～26年度)の4年度目となった。上記の協定農用地が荒廃することなく適切に管理され、農地の持つ多面的機能を発揮している。集落の農地は集落で守るという各集落協定参加者の意識も定着し、各集落で積極的な活動が行われている(写真は「波積本郷」地区の取り組み)。



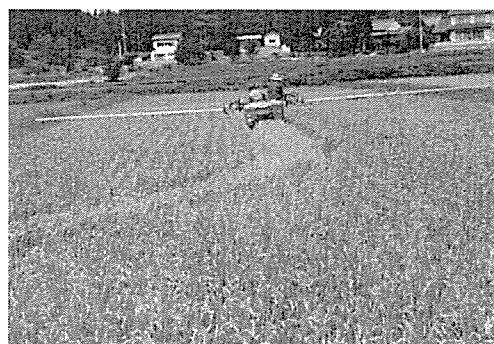
「共同作業による育苗作業」



「共同作業による水路管理」



「景観作物(チューリップ)の作付け」



「共同作業による病虫害防除」

事業名	農地・水保全管理支払事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	06	農林水産業費
事業開始年度	平成 19 年度	事業進捗率	%		項	01	農業費
担当部署	産業振興 部	農林水産 課			目	03	農業振興費
事業費		5,503,603 円		事業の目的・目標	過疎化、高齢化等の進行に伴い集落としての機能が低下し、農村地域での農地・水・環境の保全管理が困難となっている中で、地域ぐるみでの農地及び農業用排水路の補修・更新や保全管理と環境に配慮した地域の活動を支援し、地域資源の保全と農村環境の質的向上を図る。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	150,000 円					
	地方債	円					
	その他	370,000 円					
一般財源	4,983,603 円						

**施策の内容、実績、及び効果**

○事業の内容

●共同活動に対する支援

農地・農業用水等の資源の良好な保全と資質向上を図る地域ぐるみでの効果の高い共同活動への支援を行う。

対象農用地面積に乗じて得た金額を交付する。「田 3,300円/10a・畑 2,100円/10a」

●向上活動に対する支援

老朽化が進む農業用排水路等の長寿命化のための補修・更新等を行う取組への支援を行う。

対象農用地面積に乗じて得た金額を交付する。「田 4,400円/10a・畑 2,000円/10a」

○事業の実績

●事業の総事業費 19,685,687円（内訳：国費9,454,725円＋県費4,727,359円が地域協議会から直接交付＋市5,503,603円）

●協定組織数（共同活動取組組織：16組織、向上活動取組組織：6組織）

●協定農用地（共同活動交付対象農用地 378ha：田 329ha・畑 49ha）  
（向上活動交付対象農用地 165ha：田 155ha・畑 10ha）

（共同活動）水路の破損部分の補修状況



（波積の里ええのう会）

（向上活動）未舗装農道の舗装の状況



（つちかかしの会）

○事業の効果

この制度も7年目で、共同活動については、2期対策が2年目に入り1組織（3ha）が増加となった。

また、向上活動は、3年目を迎え老朽化が進む農業用施設の長寿命化のための補修・更新等も進んできた。



事業名	農林水産振興総合事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	農業費
担当部署	産業振興	部	農林水産		課	目	03	農業振興費
事業費				2,673,726円	事業の目的・目標	道の駅における直売所の運営を通じて3つの拠点化を図る。①生産振興の拠点②地産地消の拠点③PRの拠点 これにより耕作放棄地の解消、高齢者の生きがい対策、食育の推進、特産品の開発、担い手の育成確保など、本市における農業振興の課題に取り組むため、県事業を導入して必要な支援を行う。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金	1/2, 1/3		1,662,000円				
	地方債	100%		200,000円				
	その他			円				
	一般財源			811,726円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

(単位：円)

事業主体	事業種目	事業費	事業に要する経費(県+市)	負担区分		
				県	市	その他
江津市	推進活動	449,276	515,726	223,000	292,726	0
いわみ中央農業協同組合	小規模基盤・施設整備	708,000	354,000	236,000	118,000	354,000
兼業就農者	半農半X開始支援	2,776,200	1,387,000	925,000	462,000	1,389,200
兼業就農者	半農半X開始支援	835,275	417,000	278,000	139,000	418,275
合計		4,768,751	2,673,726	1,662,000	1,011,726	2,161,475

●推進活動 (事業主体：江津市)

〔内容〕

- 地産地消推進による農業振興と地域の活性化を図る。
- 生産者の技術力アップと意識向上のための生産者研修
- ニーズにあった安定供給を図るための野菜栽培実証
- 直売所の魅力をアピールし地産地消の推進を促す広報による啓発

117,560円  
331,716円



「人参作付研修」

計 449,276円

●小規模基盤・施設整備 (事業主体：いわみ中央農業協同組合)

〔内容〕

- 直売所へ出荷する生産者を対象にパイプハウス施設を整備し、需要に応じた地元野菜の安定供給を図る。
- パイプハウス1棟1経営体

計 708,000円

●半農半X開始支援 (事業主体：兼業就農者)

〔内容〕

- Uターン就農希望者を対象に半農半X型営農施設の初期投資の軽減を図り、担い手の育成を行う。
- パイプハウス2棟、管理機1台、動力噴霧器1台

計 2,776,200円

●半農半X開始支援 (事業主体：兼業就農者)

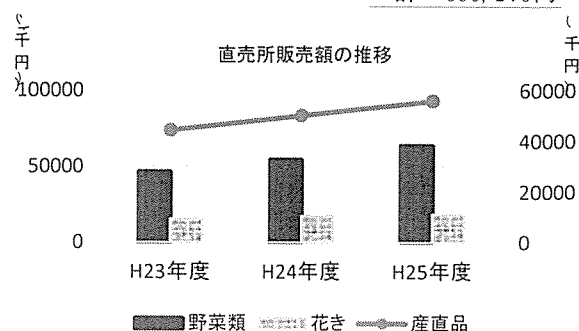
〔内容〕

- Uターン就農希望者を対象に半農半X型営農施設の初期投資の軽減を図り、担い手の育成を行う。
- パイプハウス3棟、管理機1台

計 835,275円

○事業の効果

- 直売所全体販売額 142,818千円
- 直売所産直品販売額 93,264千円
- 直売所産直品野菜類販売額 38,410千円
- 直売所産直品花き販売額 11,125千円
- 学校給食販売額 4,172千円  
(重量ベースの地産地消率29.7%)
- 登録会員数 314人  
(前年比2人増)



事業名	農林水産物直売所支援事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	06	農林水産業費
事業開始年度	平成 25 年度	事業進捗率	%		項	01	農業費
担当部署	産業振興 部	農林水産 課			目	03	農業振興費
事業費			6,208,016 円	事業の目的・目標	直売所を拠点とした生産振興と地産地消、情報発信の取組みを進めるために、直売所の安定経営と維持管理に必要な経費を負担し、効率的な活用を図る。		
財源内訳	国庫支出金	16%	827,877 円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		5,380,139 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

(単位：円)

区分	金額	内容
指定管理者に委託する施設の維持管理に関する経費	3,500,000	・指定管理委託料(トイレ清掃・データ通信・警備保障等) 3,500,000
その他	2,708,016	・浄化槽管理委託料(国84%：市16%) 1,034,880 ・イベント経費(警備・広報・消耗品) 382,300 ・その他(管理費・修繕料・研修費等) 1,290,836
計	6,208,016	

○事業の効果

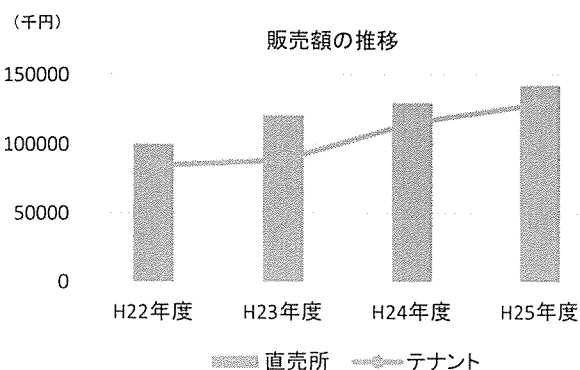
道の駅開設後4年が経過し、道の駅が持つ3つの機能(休憩機能・情報発信機能・地域の連携機能)を発揮し、多くの住民と通行客・観光客の利用があった。

また、その内の農林水産物直売所は、地産地消や食育の推進を図り、地場産品の消費拡大にも貢献している。

【農林水産物直売所の実績】

(単位：円)

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
直売所販売額	100,138,661	121,198,702	130,108,584	142,818,792
テナント販売額	33,928,360	35,552,968	46,464,673	51,827,714
学校給食販売額	—	2,263,865	4,398,894	4,172,517



〔来店者で賑わう加工品フェア〕

事業名	ふるさと農道整備事業（県営）			予算科目	会計	01	一般会計
					款	06	農林水産業費
事業開始年度	平成 25 年度	事業進捗率	%		項	01	農業費
担当部署	建設 部	土木建設 課			目	05	農地費
事業費						14,929,104 円	事業の目的・目標 平成24年度をもって第1期工事が完了し、事業期間平成25～27年度において第2期事業を行うこととなった。 大邑農道と県道大田桜江線との間にある市道長戸路線L=1.04Km区間について、未改良であるため大型車等の通行に支障を来し、この度県営事業で農業農村の振興と生活環境の改善に資する目的でW=5.0m以上の幅員計画（1.5車）で整備する。島根県への事業負担金であり、またこの改良に必要な用地費及び補償費についても、島根県へ委託して行う。
財源内訳	国庫支出金			円			
	県支出金			円			
	地方債	100%	14,900,000 円				
	その他			円			
一般財源			29,104 円				

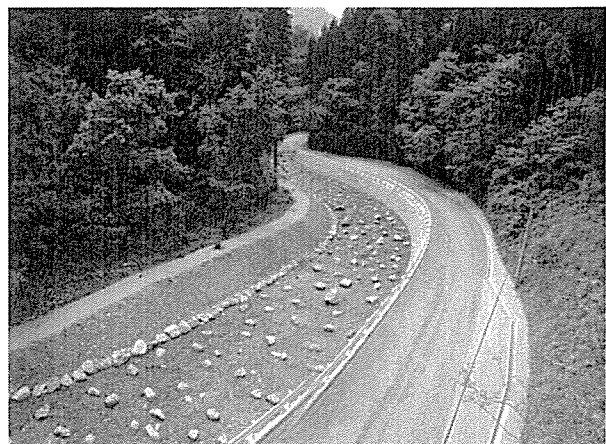
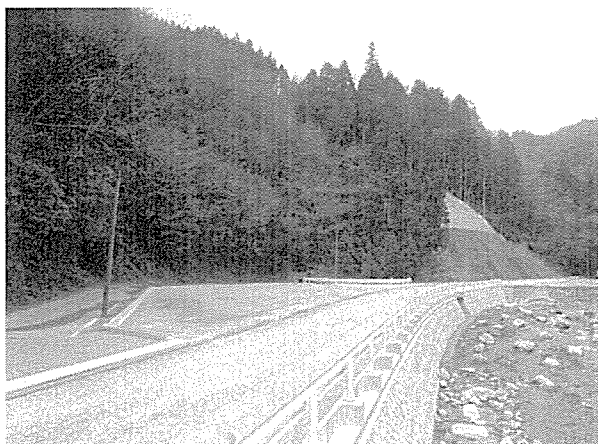
### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容及び実績

事業実施期間：平成25年度から27年度  
 事業施工延長：L=1,040m W=5.0m

単位：円

区 分	金 額	備 考
負担金補助及び交付金	14,404,000	
補償補填及び賠償金	525,104	
合 計	14,929,104	



事業名	経営体育成基盤整備事業（今田地区）			予算科目	会計	01	一般会計
事業開始年度	平成 20 年度	事業進捗率	100 %		款	06	農林水産業費
担当部署	建設 部	土木建設 課			項	01	農業費
					目	06	土地改良費
事業費		1,089,150 円		事業の目的・目標	本地区の生産基盤は10aの小区画で農道幅員も狭く、用水路の老朽化、冠水被害等で大型機械の導入が困難である。また高齢化により後継者も育たない為耕作放棄地が目立っている。 本事業導入により、地区面積22.1haを50aの大区画、道路及び用排水路整備を行い、大型機械導入により、農業の生産性の向上と認定農業者への農地の集積による担い手の確保及び耕作放棄地の解消を図る。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債	100% (過疎)	1,000,000 円				
	その他(受益者負担金)		円				
一般財源		89,150 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

区分	事業費	備考
負担金補助金及び交付金	1,060,000	
旅費	29,150	
合計	1,089,150	

○事業費内訳

事業内容	費目	金額(円)	
事業内容	本工事費(基盤整備)	5,250,000	付帯工1式(舗装工、法面工、排水路堆積土除去)
	換地費(基盤整備)	5,350,000	換地処分1式
	工事雑費		
	測量試験費		
	用地補償費		
	事務費		
合計		10,600,000	
財源内訳	国庫支出金 55.0% (50.0)	5,830,000	10,600,000×0.55
	県支出金 27.5% (32.5)	2,915,000	10,600,000×0.275
	補償費減免額		
	市負担金 10.0%	1,060,000	10,600,000×0.1
	市負担金(起債・交付金)	1,000,000	1,060,000×100%(過疎債)
	市負担金(一般財源)	60,000	
	公庫 江津市助成 2.5%	265,000	
資金 農家負担金 5.0%	530,000		
合計		10,600,000	

○全体計画

実施年度	平成20年度～平成25年度	前年度まで	平成25年度	翌年度以降
事業量	事業費	事業費	事業費	事業費
整地工22.4ha	403,784,000	393,184,000	10,600,000	0

○補助率及び負担率

基盤整備…補助率及び負担率：国 55.0%、県 27.5%、市 10.0%、受益者 7.5% (内. 市助成2.5%、農家5.0%)

(着工前)



(竣工)



事業名	公社造林事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	06	農林水産業費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	02	林業費
担当部署	産業振興	部	農林水産		目	02	林業振興費
事業費 (A)						12,007,552 円	事業の目的・目標 社団法人島根県林業公社の分収契約による管理者として事業受託し、造林及び保育に関する事業を実施する。
財源内訳	国庫支出金					円	
	県支出金					円	
	地方債					円	
	その他					5,763,586 円	
	一般財源					6,243,966 円	

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

保育事業委託料

施業内容	箇所数	施業面積 (ha)	施業委託料 (円)
除間伐+枝打	2	14.86	4,767,000
切捨間伐	1	5.10	883,575
計	3	19.96	5,650,575

旅費	(円)
普通旅費	38,650

需用費	(円)
消耗品	19,350

人件費	(円)
人件費	6,298,977

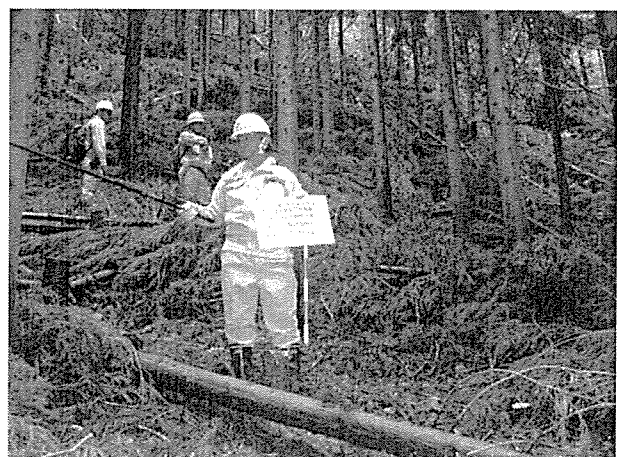
○事業の効果

保育施策を実施することで、森林の公益的機能・財産価値を高めることができた。

【除間伐+枝打竣工】



【切捨間伐竣工】



事業名		林道点検診断・保全整備事業（線越）		予算科目	会計	01	一般会計
事業開始年度		平成 25 年度	事業進捗率 100 %		款	06	農林水産業費
担当部署		建設 部	土木建設 課		項	02	林業費
事業費		30,891,000 円			目	02	林業振興費
財源内訳	国庫支出金		2,620,000 円	事業の目的・目標	既設林道のトンネルや橋梁等の点検診断を実施し、必要な修繕等を実施することにより通行の安全を図るとともに施設の長寿命化を図る。		
	県支出金	50%	15,445,500 円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		12,825,500 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

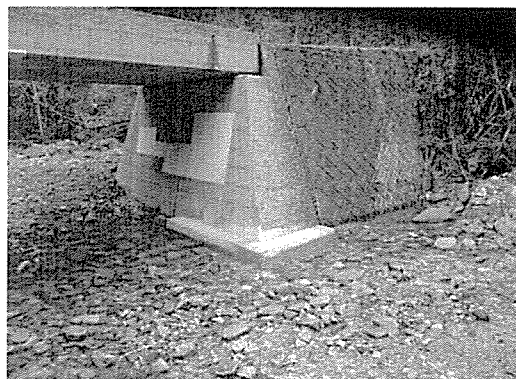
- 林道橋点検調査：林道金口線 外10路線（計17橋）
- 林道橋長寿命化修繕計画作成：林道金口線 外12路線（計21橋）
- 林道橋補修工事（江津地区）：林道打木線 外2路線（計3橋）
- 林道橋補修工事（桜江地区）：林道田津谷線 外4路線（計8橋）

区 分	事業費	備 考
委託料	7,537,950	林道橋点検調査、長寿命化修繕計画等
工事請負費	23,353,050	林道橋補修工事
合 計	30,891,000	

林道打木線（打木橋）



林道田津谷線（阿山2号橋）



事業名	森林整備地域活動支援事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	02	林業費
担当部署	産業振興	部	農林水産		課	目	02	林業振興費
事業費 (A)					10,550,000 円	事業の目的・目標 森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう適切な森林整備の推進を図るため、森林所有者等による森林施業実施に不可欠な森林の現況調査や作業路網の簡易な改良活動等の地域活動を支援する。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金	3/4		7,912,500 円				
	地方債			円				
	その他			円				
	一般財源			2,637,500 円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容及び実績

##### ①森林整備地域活動支援交付金事業

「森林経営計画作成促進」に対する支援

交付対象者	積算面積 (ha)	交付金額 (円)	県交付額 (円) 3/4	市交付額 (円) 1/4
江津市森林組合	30.00	1,140,000	855,000	285,000
邑智郡森林組合	235.00	2,930,000	2,197,500	732,500
計	265.00	4,070,000	3,052,500	1,017,500

##### ②持続的森林経営確立総合対策実践事業

森林経営計画作成・施業集約化に向けた条件整備（作業路網の簡易改良活動）

交付対象者	路網延長 (m)	交付金額 (円)	県交付額 (円) 3/4	市交付額 (円) 1/4
江津市森林組合	7,100	5,680,000	4,260,000	1,420,000
邑智郡森林組合	1,000	800,000	600,000	200,000
計	8,100	6,480,000	4,860,000	1,620,000

#### ○事業の効果

森林整備に意欲のある森林組合に交付金を交付し、森林経営計画作成の促進に資する活動や、作業路網の簡易改良活動を実施。

##### ①森林整備地域活動支援交付金事業

「森林経営計画作成促進」に対する支援

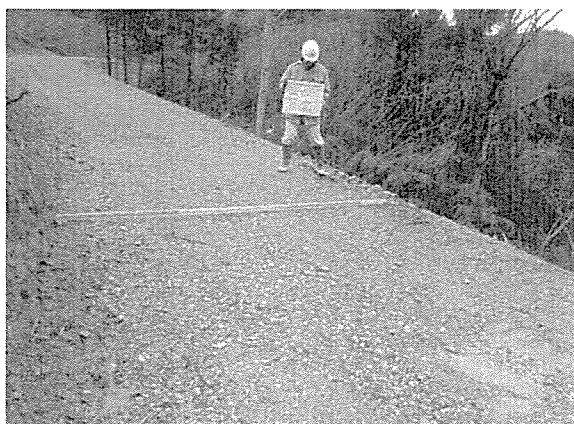
交付対象者	対象行為	実施面積	単位
江津市森林組合	樹種界測量・間伐同意	30.83	ha
邑智郡森林組合	樹種界測量・間伐同意	35.46	ha
	経営計画作成同意	205.82	ha

##### ②持続的森林経営確立総合対策実践事業

森林経営計画作成・施業集約化に向けた条件整備（作業路網の簡易改良活動）

交付対象者	対象行為	数量	単位
江津市森林組合	路盤の補強等	2	箇所
邑智郡森林組合	路盤の補強等	1	箇所

【路盤の補強：江津市森林組合】



【路盤の補強：邑智郡森林組合】



事業名	森林病虫害等防除事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	06	農林水産業費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	02	林業費
担当部署	産業振興	部	農林水産		目	02	林業振興費
事業費 (A)				事業の目的・目標	森林病虫害等を早期に、且つ、徹底的に駆除し、及びそのまん延を防止し、もつて森林の保全を図ることを目的とする。		
財源内訳	国庫支出金		6,697,950 円				
	県支出金		4,564,700 円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		2,133,250 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

森林病虫害におかされた松の伐倒駆除を行う。また、森林病虫害による枯死木の林内処理を行う。

○事業の実績

防除方法	松林面積	事業量
衛生伐・不用木等の除去・処理	81.69ha	くん蒸285m <sup>3</sup> 、不用木9m <sup>3</sup>
枯死木の林内処理	0.61ha	40.2m <sup>3</sup>

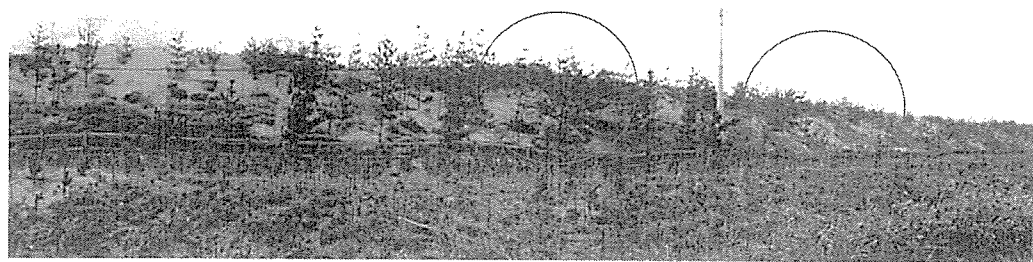
○事業の効果

森林病虫害を駆除することにより、線虫の増殖を防ぐことができた。

着手前



完了





事業名		森林整備加速化・林業再生事業			予算科目	会計	01	一般会計	
事業開始年度		平成	年度	事業進捗率		%	款	06	農林水産業費
担当部署		産業振興部		農林水産		課	項	02	林業費
事業費(A)						27,599,250円	目	02	林業振興費
財源内訳	国庫支出金				円	事業の目的・目標 地球温暖化防止に向けた森林吸収目標の達成を目的として県に造成された基金を活用し、市有林や市行造林地における間伐や路網の整備と海岸松林、公共施設周辺の森林病害虫の伐倒・くん蒸処理を実施するもの。			
	県支出金	10/10			25,559,500円				
	地方債				円				
	その他(立木売却収入)				2,039,150円				
	一般財源				600円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

●林内路網整備事業

・森林作業道整備

・森林作業道市行30号線開設工事(桜江町長谷) 延長 1,226m  
工事請負費 (円)

工事請負費	1,499,400
-------	-----------

●森林病虫獣害対策

・森林病害虫防除

・病害虫被害木の伐倒駆除(浅利、渡津、江津、敬川地区) 面積:102ha 数量:991m<sup>3</sup>  
委託料 (円)

業務委託料	20,788,950
-------	------------

●間伐事業

・間伐(搬出間伐・保育間伐)

・市行分収造林30号(桜江町長谷)を間伐し木材を搬出 面積:14.19ha 搬出数量:333m<sup>3</sup>  
委託料 (円)

業務委託料	4,261,950
-------	-----------

役務費 (円)

木材搬出手数料	1,048,950
---------	-----------

○事業の効果

●路網の整備により大型の林業機械や運搬車の走行が可能となり、木材搬出コストが低減できた。

●森林病害虫を駆除することにより、線虫の増殖を防ぐことができた。

●搬出間伐及び保育間伐を実施することで、森林の価値を高めるとともに、木材の販売益を得た。



病害虫被害木くん蒸処理状況



森林作業道市行30号線施工状況及び間伐状況



伐出木

事業名		森林整備加速化・林業再生事業（繰越）			予算科目	会計	01	一般会計	
事業開始年度		平成	年度	事業進捗率		%	款	06	農林水産業費
担当部署		産業振興部		農林水産課			項	02	林業費
							目	02	林業振興費
事業費（A）					事業の目的・目標	地球温暖化防止に向けた森林吸収目標の達成を目的として県に造成された基金を活用し、市有林や市行造林地における間伐や路網の整備と海岸松林、公共施設周辺の森林病虫害の伐倒・くん蒸処理を実施するもの。			
財源内訳	国庫支出金					31,820,250	円		
	県支出金	10/10				31,820,250	円		
	地方債						円		
	その他						円		
	一般財源						円		

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

●林内路網整備事業

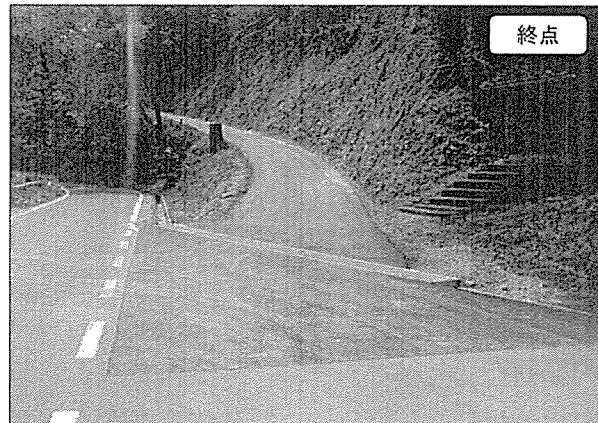
・林業専用道（規格相当）整備

・林業専用道畑田山下山線開設工事（松川町畑田） 延長 1,880m  
工事請負費 (円)

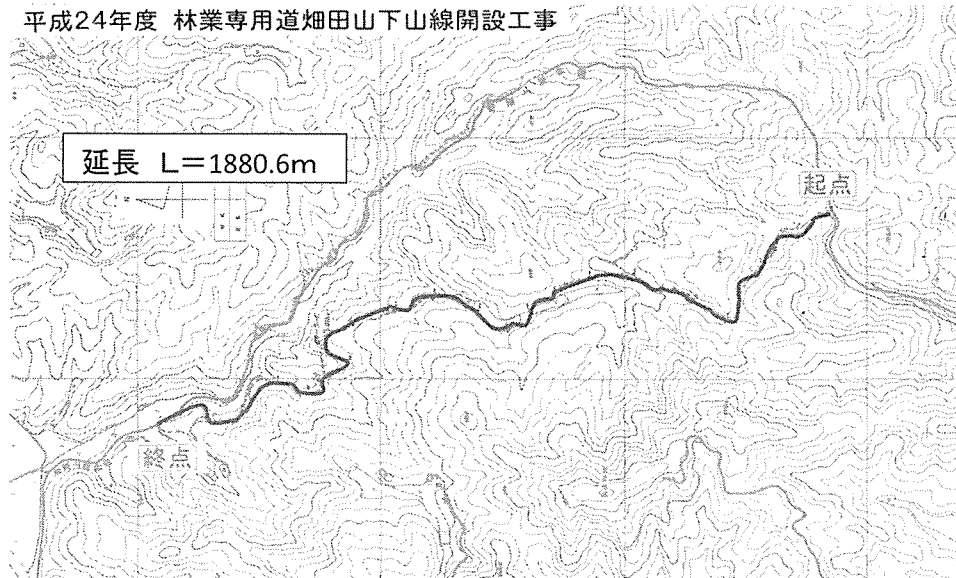
工事請負費	31,820,250
-------	------------

○事業の効果

●路網の整備により大型の林業機械や運搬車の走行が可能となり、木材搬出コストが低減できた。



平成24年度 林業専用道畑田山下山線開設工事



事業名		市行分収造林事業		予算科目	会計	01	一般会計	
事業開始年度		平成	年度		事業進捗率	%	06	農林水産業費
担当部署		産業振興部			農林水産課	02	林業費	
事業費(A)					3,396,603円	03	財産造成費	
財源内訳	国庫支出金			円	事業の目的・目標 木材としての価値を高め、市有財産を増やすとともに搬出間伐等の木材生産を行い、分収契約者に収益を還元する。 森林の持つ公益的機能をより発揮させる。 林業の活性化を図り、林業雇用の場を維持拡大させる。			
	県支出金			961,480円				
	地方債	100%		1,900,000円				
	その他			円				
	一般財源			535,123円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

保育事業委託料

施業内容	箇所数	施業面積 (ha)	施業委託料 (円)
下刈	1	1.83	304,500
除伐	2	4.00	987,000
枝打	3	5.38	1,916,250
造林地調査	2	16.16	131,250
合計	8	27.37	3,339,000

作業員賃金 (円)

造林監督員賃金	21,000
---------	--------

需用費 (円)

消耗品費	36,603
------	--------

○事業の効果

保育施業を実施することで、森林の公益的機能・財産価値を高めることができた。

【除伐竣工】



【枝打竣工】



事業名		絆の森整備事業			予算科目	会計	01	一般会計
事業開始年度		平成 13 年度	事業進捗率	%		款	06	農林水産業費
担当部署		産業振興 部	農林水産 課			項	02	林業費
事業費 (A)		1,674,750 円				目	04	森林環境整備事業費
財源内訳	国庫支出金			円	事業の目的・目標	森林区間整備事業（H9～13）により、松くい虫により荒廃していた浅利富士周辺（みんなの森）83haの樹種転換を図り、森林整備を行った。本事業では、前事業を引き継ぎ、苗木の保育事業や歩道を設置し、市民が親しめる森として整備する。		
	県支出金	70%		1,117,200 円				
	地方債			円				
	その他			円				
	一般財源			557,550 円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容及び実績

- 不用木の除去  
植栽木の保育事業として、生育の支障となる不用木を除去。
- 作業道修繕  
一部凹凸のあった作業道の路面を、重機により敷きならした。

#### 委託料

事業内容	事業量	事業費 (円)	内訳	
			県支出金 (円)	一般財源 (円)
不用木の除去 (除伐)	8.80ha	1,596,000	1,117,200	478,800

需要費 (円)	
修繕料	78,750

#### ○事業の効果

- 浅利富士周辺のみんなの森において不用木の除去（除伐）を実施し、市民が親しめる森として整備した。
- みんなの森作業道の除草作業を実施、少年自然の家来館者や市民が利用しやすいよう整備した。

みんなの森(浅利富士周辺)  
【不用木の除去状況】



みんなの森(浅利富士周辺)  
【作業道除草状況】



事業名		現年発生林地崩壊防止事業		予算科目	会計	01	一般会計
					款	06	農林水産業費
事業開始年度	平成 25 年度	事業進捗率	%		項	02	林業費
担当部署	建設 部	土木建設 課			目	05	林地崩壊防止事業
事業費			39,514,350 円	事業の目的・目標	平成25年6月18日～21日及び7月4日～7日発生梅雨前線豪雨災害並びに8月23日～25日発生豪雨災害により、裏山が崩壊し、被災した家屋を県単林地崩壊防止事業により復旧する。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		5,750,000 円				
	地方債	100%	33,500,000 円				
	その他(分担金)		257,197 円				
一般財源			7,153 円				

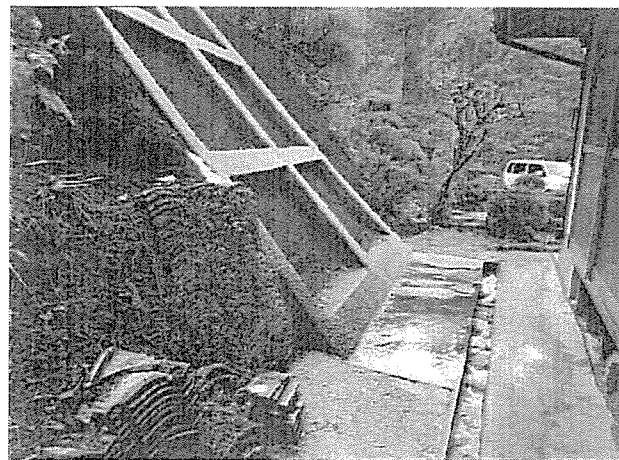
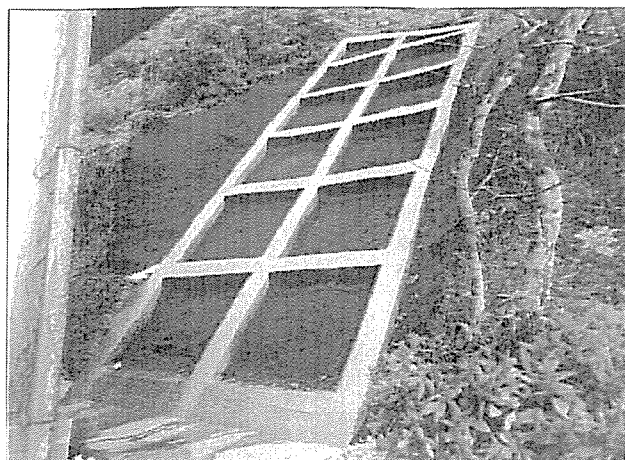
施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

単位：円

区 分	年度内支出	繰越額	備 考
委 託 料	17,955,000	0	測量設計委託料
工 事 請 負 費	21,559,350	99,940,650	6月豪雨分 1箇所 7月豪雨分 2箇所(全箇所繰越) 8月豪雨分 35箇所(全箇所繰越)
合 計	39,514,350	99,940,650	

竣 工



平成25年度(25年災)県単林地崩壊防止工事(谷地区)

事業名		栽培漁業地域展開事業		予算科目	会計	01	一般会計
事業開始年度		平成 7 年度	事業進捗率 %		款	06	農林水産業費
担当部署		産業振興 部	農林水産 課		項	03	水産業費
事業費		375,920 円			目	02	水産業振興費
財源内訳	国庫支出金		円	事業の目的・目標	江津市・浜田市・益田市の3市が一体となって、平成3年以降「採る漁業～つくり育てる漁業」へと資源管理型漁業への移行を目指し、ヒラメを対象とする陸上イケスを設置して中間育成・放流を行い、漁業資源の維持・増大を図る。		
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		375,920 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

ヒラメの稚魚を購入し、中間育成にて約10cm程度に成長したヒラメの放流を行う。

(円)

部会事業費	県補助金	国補助金	ファンド	市等負担(うち江津市)
9,257,000	1,712,500	728,656	2,607,844	4,208,000 (375,920)

地域部会費	127,500 円	(旅費、需用費、研修会費)
育成管理費	4,640,750 円	(資料、薬品、電気代、放流借船料)
種苗購入費	4,488,750 円	(ヒラメ250,000尾購入)

○事業の効果

207,000尾のヒラメを放流し(内江津市56,000尾)、県全体で取り組む「採る漁業からつくり育てる漁業」の推進に寄与した。

【PR放流の様子】



郷田小学校児童

事業名		水産振興対策事業		予算科目	会計	01	一般会計	
事業開始年度		平成 18 年度	事業進捗率		%	款	06	農林水産業費
担当部署		産業振興 部	農林水産 課			項	03	水産業費
事業費 (A)			799,470 円			目	02	水産業振興費
財源内訳	国庫支出金		円	事業の目的・目標	減少傾向にある水産資源の回復を支援することにより、水産物の安定的な供給を図る。			
	県支出金		円					
	地方債	100%	700,000 円					
	その他		円					
	一般財源		99,470 円					

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容及び実績

減少傾向にある水産資源の回復を支援するために、アワビの稚貝を市で購入し、JFしまね浜田支所江津出張所へ支給する。

アワビ稚貝購入 7,050個

#### ○事業の効果

種苗の生産、育成、放流等の栽培漁業推進のため、水産資源の回復を支援し、水産物の安定的な供給を図った。

#### 【アワビ稚貝】

